

平成30年度予算見積調書

課室名: 保健医療政策課

担当名: 政策企画担当

内線: 3527

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B5	メディカルラボ・コミュニケーション事業		一般会計	衛生費	公衆衛生費	衛生研究所費	衛生研究所費	
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令			宣言項目 分野施策	020307 地域医療体制の充実		
1 事業の概要	衛生研究所の高い専門的な検査・研究機能を活用し、保健衛生分野の大学、企業、研究機関、団体等の研究室と連携・交流を図り、地域における新たな分野への貢献を図る。 【新たな貢献分野】 1 ダニアレルギー症状に及ぼす患者住居環境介入の効果についての共同研究 2 城西大学との共同研究 3 自然毒分析法の共同研究 4 元荒川水循環センターとの下水中ウイルス共同研究 5 共同研究の体制整備と報告 6 人材育成事業・薬学生等のインターンシップ		5 事業説明 (1) 事業内容 ア ダニアレルギー症状に及ぼす患者住居環境介入の効果についての共同研究 416千円 平成28年度から実施しているダニアレルギー症状に及ぼす患者住居環境介入の効果についての結果から得られた知見をパンフレット及び研修会で周知する。 イ 城西大学との共同研究 610千円 城西大学薬学部の研究者と共同で、化学物質の有効成分の長期的安定性技術を食品等へ応用する研究を行う。 ウ 自然毒分析法の共同研究 850千円 コープネット事業連合と共同で自然毒(アルカロイド類)の分析法を開発する。開発した分析法を用いて、出荷前後のアルカロイド含有量調査や部位別調査を実施し、有症苦情等への対応の一助となるデータを集積する。 エ 元荒川水循環センターとの下水中ウイルス共同研究 668千円 腸管系ウイルス感染において下水を調査することで流行実態の調査を行う。 オ 共同研究の体制整備と報告 30千円 メディカルラボ・コミュニケーション事業(5年間)の報告書を作成。 また、厚生労働省等からの補助金による研究を行うため、体制整備について情報収集・分析を行う。 カ 人材育成事業・薬学生等のインターンシップ 0千円 衛生研究所の業務体験を通じて、薬剤師や獣医の勤務の候補先として学生の就業意識を高め、学問研究への問題意識を醸成する。 (ア) 衛生研究所独自のインターンシップの受入れ 5～3月 (イ) 県庁インターンシップの受入れ 8～9月 (2) 事業計画 平成28年度 関係機関との共同研究 平成29年度 関係機関との共同研究 平成30年度 関係機関との共同研究 (3) 事業効果 産学官連携ネットワークを活かしつつ、地域における産業振興など新たな分野への貢献を推進する。					
2 事業主体及び負担区分	県10/10							
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
決定額	2,574						2,574	△675
前年額	3,249						3,249	